



ロータリー：
変化をもたらす

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ：奉仕の理想のさらなる実現に向けて

パワー浜松ロータリークラブ（2017-18年度 会長：長谷川 博久 幹事：後藤 達朗）
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC

第683回例会 7月25日 M7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会：安間利広 松島弘明
- 点鐘：長谷川博久
- ゲスト：米山記念奨学生 薛安琪さん
- 議事：職業奉仕部会
「衆議院議員 塩谷 立先生の卓話」

〈出席報告〉

会員数 80名(内 出席免除会員2名)

出席数 66名 出席率 84, 62%

前々回出席率 87, 18%

■スマイル 5件

・長谷川会長 ・竹林さん・原田さん(2件) ・堀内さん

■会長挨拶

RIの会長エレクトのウガンダのサムオオリ氏が逝去。ご冥福をお祈りします。

先日の7月8日地区で会員増強セミナーがあり、当クラブから鈴木孝尚さんが出席。

機会ある際に皆様の前で発表して頂く。

日本の景気は建設業に限りバブル崩壊後、日米構造協議等で10年位は公共事業があった。パワー浜松の創立された平成14年位迄。平成15年位から仕事量が激減、倒産廃業ラッシュ状態。行政の入札に参加する業者は浜北区内において半分ほどとなる。

民主党政権になりコンクリートから人へというフレーズで、そのため変わってしまったと言われるが、実際は、小泉政権で補助金カットや外郭団体の廃止によって予算が大幅に削られたことから始まる。無駄な予算を減らすことは大切、無理に減らすとなると弊害も出る。市町村合併により予算はさらに削減。市内の道路は、ガタガタで損傷がひどく、放っておいていいものかとは感じる。後になれば余計に予算もかかる。

不遇の時代も少しずつ景気回復とともに状況は変化。社会全体において人手不足が大問題。不遇の時代、生き残りのために人材をカットしてきた報いが今になって現実的な形となり、仕事があっても受注出来ないジレンマ、将来的な不安が増大。公共事業にも。予算がないから仕事を出さないという今までのやり方のしっぺ返しである。

地震や大雨の災害があっても人手不足で対処出来ないと予想。熊本地震でも1年以上たつが被災家屋は未だ仮設住まいのまま。自分たちの身は自分たちで守るしかない。災害があっても自分の家、自分の会社をどうやって守っていくかを行政の手を借りずに何とかするような対策をすべき。自分の身を守ることが一番大事、早急に考えなければいけない問題である。

■幹事報告

・竹林職業奉仕部会長の挨拶

■委員会報告

・ゴルフ同好会松本さん 9月18日は11RC親睦コンペ

■ハッピーバースデー

・今年度は木製のボールペン、稲野さんがネーム入れを奉仕でして下さる。

・7月生：森上さん、後藤さん、奥山さん、鷺津さん

■議事 塩谷会員の卓話

- ・ 国政報告、世界貿易における主要国・地域の状況、日本の貿易・経済連携について、今後の基本方針について、人口減少、少子高齢化、世界との交渉等、難しい対応が必要。当面は、現状をしっかりと維持することが大切であると、具体的に解りやすく卓話して頂きました。
- ・ 詳細 卓話 レジユメ有り

